

社会科学習指導案

単元名「きょう土の伝統・文化と先人たち」

小単元名「工業のまちをきずいた人」〔学指要領：(4)、ア(イ)(ウ)、イ(イ)〕

令和5年〇月〇〇日(金) 第5校時 〇年〇組教室

太田市立駒形小学校 〇年〇組 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 小単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・地図や写真などの資料で調べて年表などにまとめ、産業における地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解することができる。	
思考力、判断力、表現力等	・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、産業における地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現することができる。	
学びに向かう力、人間性等	・産業における地域の発展に尽くした先人の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりする。	

2 評価規準

知識・技能	・地図や写真などの資料で調べて年表などにまとめ、産業における地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解している。
思考・判断・表現	・当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、産業における地域の発展に尽くした先人の具体的事例を捉え、先人の働きを考え、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・産業における地域の発展に尽くした先人の働きについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画(全9時間：本時第5時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・太田市の工業に関する資料を基に、小単元の課題を把握する。(a) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 小単元の課題 中島知久平たちは、どのようにふうや努力をして、工業のまちをきずいていったのだろうか。 </div>			○
2	・中島知久平が飛行機を完成させる努力について年表などの資料を基に調べ、まとめる。	○		
3	・中島飛行機の発展について調べ、まとめる。(あ)	○		
4	・中島飛行機の発展と太田市の関わりについて考える。(a)		○	
5	・爆撃を受けた中島飛行機の再出発について調べ、まとめる。(あ)	○		
6	・自動車のまちとして株式会社SUBARUが心がけていることについて調べ、まとめる。	○		
7	・太田市の工場の発展について調べ、まとめる。	○		
8	・きょう土の先人たちの学習における、小単元の課題についてまとめる。(あ)	●	○	
9	・単元全体について、よりよい社会生活のために自分にできることを考える。(あ)		●	●

*活用する学習支援ソフト等：(あ) Google スライド

*活用するコンテンツ等：(a) Google Earth

II 本時の学習（5／9）

1 ねらい 中島飛行機の戦後の様子を表す資料を基に、中島飛行機の再出発について話し合う活動を通して、先人たちの苦心や努力が当時の生活の向上や自動車会社の設立に繋がったことを理解できるようにする。

2 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	主な発問	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>＜めあて＞ 工場が爆撃を受けたあと、どのように再出発したのだろうか。</p> <p>S：中島飛行機が爆撃を受けて、人々の生活は厳しくなったと思う。今はスバルの工場があるから、爆撃後は自動車づくりで再出発したのかな。</p>		<p>○爆撃を受けたことによる人々の生活の変化を捉えられるように、「爆撃を受けた中島飛行機の工場の写真」を提示し、まちの人々への影響を問いかける。 【★提示】</p> <p>○本時のめあてをつかめるように、「中島飛行機の工場の写真」と「SUBARUの工場の写真」を見て気付いたことや疑問に思ったことを問いかける。</p>
<p>2 一人一人が、解決に必要な情報を読み取る。（15分）</p> <p>S：また飛行機を作ることは難しいから、今度は自動車を作るために頑張ったのではないかな。</p> <p>S：資料を見ると、その当時の生活に必要な食器や自転車、スクーターを作ったみたいだね。スクーター作りが自動車会社に繋がっていったのだね。</p>		<p>○問題解決に意欲的に取り組めるように、本時のめあてに対する予想を問いかける。</p> <p>○飛行機工場から、食器や自転車、スクーターなどの生産を経て自動車工場に変わっていったことに気付けるように、資料から読み取った中島飛行機の再出発の方法をノートにまとめるよう助言する。</p>
<p>3 学級全体で、各自が読み取った情報を整理し、中島飛行機の再出発について話し合う。（15分）</p> <p>飛行機をつくっていた先人たちは、簡単に別のものづくりができたのでしょうか。</p> <p>S：飛行機をつくっていた人たちが別のものを作るには、大変なことや努力があったと思う。飛行機づくりでも試行錯誤していたように、今回も失敗を繰り返しながら作っていたのではないかな。</p> <p>S：友達も言うように、残った材料で自分たちに何ができるか必死に考え、様々な苦心や努力をしながらも、飛行機づくりの技術を生かして人々の生活に必要なものを作ることから再出発したのだね。</p> <p>S：飛行機の部品をスクーターに生かしているね。残った材料や技術を生かしたことで、当時の人々の交通手段としても役立ったのだね。</p>		<p>○これまでとは別のものづくりで再出発するための苦心や努力があったことを考えられるように、飛行機づくりにおける苦心や努力などを想起するよう促す。</p> <p>○先人たちの様々な苦心や努力に気付けるように、各自が考えたことを小グループで交流するよう促す。</p> <p>○爆撃を受けた後の中島飛行機の再出発について捉えられるように、飛行機づくりから自動車づくりへと変わっていく流れと、そこにあった先人たちの苦心や努力を整理して板書する。</p> <p>○飛行機の部品や技術を生かしてスクーターが作られていた事実を捉えられるように、実際のラビットスクーターの車輪（中島飛行機製造爆撃機「銀河」の尾輪）の写真を提示する。 【★提示】</p>
<p>4 本時のまとめをし、一人一人が学習の振り返りをする。（10分）</p> <p>＜まとめ＞ 再出発するために、できることを考えたり試したり、技術を生かしたりしながら、人々の生活に役立つ食器や自転車などを作った。さらに、スクーターの生産は、後に自動車会社へとつながっていった。</p>		<p>◆評価項目（知○） ノートの記述内容から、「先人たちの苦心や努力が当時の生活の向上や自動車会社への設立に繋がったことを理解しているか」を評価する。</p> <p>○学習の深まりを実感できるように、数名の振り返りを紹介するとともに、先人たちの苦心や努力について考えることができたことや、学習全体の様子について称賛する。</p>
<p>＜振り返り＞ S：戦後も工場を続けていくために、できることを考えたり、どのように作るのか調べて試したりするなど、いろいろな苦心や努力があってもものを作っていたことがわかった。そのおかげで、工場やまちの人々の生活が向上していったので、先人たちのすごさを感じた。スクーターの生産のあと、どのように今の自動車の会社になっていったのか（SUBARUという会社になったのか）調べてみたい。</p>		